

2021年度

事業報告書

自：2021年4月 1日
至：2022年3月31日

東京都港区芝公園4丁目7番4号
公益財団法人 三康文化研究所

目 次

1. 事業の状況	2
(1) 公開集会	2
(2) 研究座談会	2
(3) 研究会	2
(4) 研究冊子の刊行	3
(5) 学会参加	3
(6) 附属図書館	4
(7) その他の事業(不動産賃貸事業)	8
(8) その他事項	9
2. 処務の概要	9
(1) 役員等に関する事項	9
(2) 会議に関する事項	9

1. 事業の状況

(1) 公開集会

新型コロナウイルス感染症感染防止対策(以下感染防止対策と記す)のためオンライン(Zoomミーティング)にて開催した。オンライン開催に伴い、より広い分野から多くの公開集会聴講者を募集するため、ホームページ、Facebook(フェイスブック)、およびTwitter(ツイッター)にてご案内し、さらに大学、研究機関、新聞社等へ開催案内を事前に送付した。その結果、今まで以上に広い分野の方が聴講し、新聞記事にあつては、宗教専門紙である「中外日報」(株式会社中外日報社発行)、および「仏教タイムス」(株式会社仏教タイムス社発行)にて、公開集会の開催案内と発表内容について掲載された。

開催年月日	題 目	発表者	聴講申込者数
2021年10月18日	「椎尾弁匡の浄土教解釈」 「法然上人における四修積の受容と展開② 一東大寺講説「三部経釈」を中心に」	西村実則研究員 林田康順研究員	21名
2021年12月6日	「浄土宗全書の底本ならびに諸版について」 「大蔵経の変遷」	石川琢道研究員 柴田泰山研究員	39名
2022年2月7日	「三康図書館蔵・湯山文庫のインド語写本について」 「近世初期浄土宗の群像」	古宇田亮修研究員 宇高良哲研究指導員	43名

(2) 研究座談会

感染防止対策のため、実施せず

(3) 研究会

種 目	開催年月日	研 究 内 容	参加メンバー
原典研究会 担当者 西村実則研究員 古宇田亮修研究員	感染防止対策のため実施せず	梵本・パーリ本の仏典の 輪読と校合 (2021年度は ①西村実則研究員は梵本・ パーリ本の仏典を研究 ②古宇田亮修研究員は湯 山文庫のインド語写本 について調査・研究)	大南龍昇(元大正大) 佐藤堅正(大正大) 石田一裕(〃) 西村実則(研究員) 古宇田亮修(研究員) 以上5名

<p>日本仏教史 研究会</p> <p>担当者 宇高良哲研究指導員</p>	<p>感染防止対策のため実施せず</p>	<p>増上寺・蓮馨寺などの史料を整理研究 (2021年度は宇高良哲研究指導員のみで以下を実施 ①増上寺史料添簡の整理 ②『蓮馨寺月鑑 第四巻』の史料整理)</p>	<p>小此木輝之(元大正大) 吉水成正(〃) 野村恒道(元浄土宗総合研究所所員) 伊藤真昭(元華頂大) 柴田泰山(研究員) 宇高良哲(研究指導員)</p> <p>以上6名</p>
<p>浄土教典籍 研究会</p> <p>担当者 林田康順研究員 柴田泰山研究員 石川琢道研究員</p>	<p>自2021年4月22日 至2022年3月10日 (オンライン開催) 計6回</p>	<p>了恵撰 『天台菩薩戒義疏見聞』 の研究</p>	<p>林田康順(研究員) 柴田泰山(〃) 石川琢道(〃)</p> <p>以上3名</p>

(4) 研究冊子の刊行

- ① 所報第五十六号 (A5判・75頁・200部) 2021年6月15日発行
② 年報第五十二号 (A5判・178頁・300部) 2021年5月31日発行

(5) 学会参加

宇高良哲 なし

西村実則 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)

林田康順 浄土学研究会学術大会(オンライン参加)、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)、日本仏教学会学術大会(オンライン参加)、仏教文化学会(オンライン参加)

柴田泰山 浄土学研究会学術大会(オンライン参加)、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)、浄土学研究会公開講座(オンライン参加)

石川琢道 浄土学研究会(オンライン参加)、日本仏教学会(オンライン参加)、浄土宗総合学術大会(オンライン参加)、日本印度学仏教学会(オンライン参加)、東アジア仏教研究会(オンライン参加)

古宇田亮修 日本印度学仏教学会(オンライン参加)、千葉・関東地域社会福祉史研究会(オンライン参加)、地域社会福祉史研究会連絡協議会・研究交流会(オンライン参加)

(6) 附属三康図書館

1966年に開館して以来55年を経過した。お客様の需要を分析し、その結果を踏まえ、お客様のご期待を上回る「蔵書の整備」、「学習、調査、研究などに関する質問への回答」や「情報の提供」などより一層のサービス向上を図り、充実した図書館を目指している。

2021年度も、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、東京都の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」、公益社団法人日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、「三康図書館開館指針」及び「対応細則」(2020年6月5日作成)に基づき図書館を運営した。なお、図書館は、政府や東京都の要請に応じて以下のとおり、利用者数を最大4名(通常は36名)までとし、開館した。

【措置等発令期間】

「まん延防止等重点措置」(2021年4月12日～4月24日)

「緊急事態措置」(2021年4月25日～6月20日)

「まん延防止等重点措置」(6月21日～7月11日)

「緊急事態措置」(7月12日～9月30日)

「リバウンド防止措置」(2021年10月1日～10月24日)

「基本的対策徹底期間における対応」(2021年10月25日～2022年1月10日)

「オミクロン株急速拡大に伴う緊急対応」(2022年1月11日～1月20日)

「まん延防止等重点措置」(2022年1月21日～3月21日)

「リバウンド防止措置」(2022年3月22日～4月24日(予定))

【各種措置等に基づく開館時間】

2021年4月1日～10月22日、および2022年1月21日～3月31日

11:30～15:30に変更(通常は9:30～17:00)

2021年10月25日～2022年1月20日

10:30～16:30に変更(通常は9:30～17:00)

引き続き感染防止対策を徹底し、ご利用のお客様と職員の健康と安全確保に留意して開館している。

また、これまで入館資格を16歳以上としていたが、幅広いお客様へのサービス提供が求められることから、2021年10月1日から、利用者の年齢制限を撤廃し、高校生以下および18才未満の利用者は無料とした。(「公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館閲覧規程」改正)

2021年度実施した各部門別業務内容は次のとおりである。

①管理・人事

(イ)書庫・資料管理

○書庫管理 (各書庫の定点温湿度測定と、定期的な清掃を実施した。)

○消毒 (虫害対策として、専門業者による館内の消毒、および点検を実施した。)

○資料保存 (専門業者による酸性化した雑誌183冊分の脱酸処理と破損部補修、虫損の写本1冊の修理、破損図書10冊分の製本修理を実施した。)

②資料受入

2021年度受入分は次のとおりである。

(イ) 図書

1. 購入 131冊
2. 寄贈 126冊
- 合計 257冊
3. 除籍 0冊

(ロ) 雑誌

1. 新規継続購入 0タイトル
2. 新規継続寄贈 1タイトル
- 合計 1タイトル
3. 追加入力雑誌 0タイトル
4. 欠号分等補充購入 11タイトル(126冊)(10タイトルは所蔵雑誌の欠号補充、1タイトルは旧大橋図書館で発行した雑誌で未所蔵分)
5. 欠号分等補充寄贈 1タイトル(4冊)(すべて所蔵雑誌の欠号補充)
6. 除籍 0タイトル

2021年度の受入により当館所蔵の図書及び雑誌の総数は次のとおりとなった。

図書総数 260,510冊

雑誌総数 7,129タイトル

(雑誌総数には、図書扱いであった資料が、雑誌扱いになった際のタイトル数も含まれる。)

③蔵書資料のデータベース作成と公開

2022年3月31日現在までの状況は次のとおりである。

(イ) データベース作成中の分野

※旧大橋図書館の蔵書

地理・地誌、自然科学、文学

※三康図書館設立以降の蔵書

新規受入図書・雑誌、湯山文庫(外国語図書)

(ロ) インターネット公開

○蔵書検索で検索可能な分野

※旧大橋図書館の蔵書

総記、宗教・哲学、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、産業、芸術、児童書、閲覧禁止本(憲秩素本)、自然科学の一部、工学の一部、雑誌

※三康図書館設立以降の蔵書

新刊受入図書(2001年度以降受入分)、雑誌、同人誌、椎尾文庫、湯山文庫(日本語図書・雑誌)

○書名50音リストで検索可能な分

歴史、伝記、教育、語学

(ハ) 既刊蔵書目録(冊子体目録)

哲学・宗教編、地理・地誌編、文学編、欧文書編、漢籍編、国書編、児童書編、雑誌、内田文庫、椎尾文庫、増谷文庫

④利用者へのサービス

(イ) 図書館利用状況

- 図書館開館日数 219日
- 図書館利用者数 255名 (書庫内保管図書・雑誌利用者 87名)
- 書庫見学者 65名
- 書庫内保管図書・雑誌の利用総冊数 1,260冊
(図書216冊、雑誌1,044冊(52タイトル))
- 文書等による図書の調査件数 76件
- 文献複写(電子式)申込件数 51件(1,900枚)
- 文献複写(写真撮影)申込件数 10件(148コマ)
- 複製物掲載申込件数 4件(17点)
- 翻刻申込件数 1件(12頁)

(ロ) 資料の展示

感染防止対策に留意しながら、下記の展示を実施した。

- ミニ展示(展示ケースを使用しロビーにて実施)
 - 「江戸千代紙」(一枚物)(10点)(2021年4月1日～5月28日の開催を予定していたが、緊急事態宣言発出に伴い、4月25日以降は中止した。)
 - 「三康図書館所蔵資料を掲載した雑誌」(雑誌)(6誌)(2021年7月1日～10月28日)
 - 「江戸名所図会下絵」(卷子本)(2点)(図書)(3冊)(2021年11月1日～11月26日)
 - 「名所図会でめぐる旅」(図書)(12冊)(2021年12月6日～2022年1月26日)
 - 「描かれた増上寺」(一枚物)(5点)(2022年2月7日～3月31日)
- 蔵書紹介(ディスプレイラックを使用し閲覧室にて実施)
 - 「桜」(図書)(23冊)(雑誌)(2誌)(2021年4月1日～4月28日の開催を予定していたが、緊急事態宣言発出に伴い、4月25日以降は中止した。)
 - 「様々な入門書/手引書」(図書)(39冊)(2021年7月1日～7月30日)
 - 「涼」(図書)(21冊)(雑誌)(1誌)(2021年8月2日～9月3日)
 - 「利用者の投書から見る資料」(図書)(9冊)(雑誌)(1誌)(2021年9月6日～9月30日)
 - 「お月見」(図書)(8冊)(2021年10月1日～10月28日)
 - 「第4書庫の資料たち」(図書)(9冊)(2021年11月1日～11月30日)
 - 「クリスマス」(図書)(9冊)(2021年12月1日～12月24日)
 - 「名所図会いろいろ」(図書)(32冊)(2022年1月5日～1月26日)
 - 「お菓子にまつわる資料」(図書)(8冊)(雑誌)(1誌)(2022年2月7日～3月31日)
- 特集展示コーナー(書架を使用し閲覧室にて実施)
 - 「文芸同人誌の世界」(雑誌)(34誌)(2021年5月6日～6月30日)
 - 「科学雑誌」(雑誌)(20誌)(2021年7月1日～12月27日)
 - 「春と食べ物の絵本」(図書)(16冊)(2022年2月21日～4月28日(予定))
- 研究員による所蔵資料の紹介コーナー(書架を使用し閲覧室にて実施)
 - 「古典を読もう」(図書)(23冊)(柴田泰山研究員企画)(2021年8月2日～10月28日)
 - 「和辻哲郎の『古寺巡礼』」(図書)(4冊)(柴田泰山研究員企画)(2022年3月1日～5月31日(予定))

(ハ) 三康図書館ホームページ

2000年7月に開設したホームページを、2019年10月25日にリニューアルし、当館の紹介

や蔵書検索の充実に努めている。

○アクセス数

2022年3月31日までの総アクセス数 221,502件

2021年度1年間のアクセス数 29,794件 (対前年度比 8,254件増)

○蔵書検索

現在ホームページからの蔵書検索は、書名、著者名等を入力して検索する「ライブファインダー・ウェブ」(2009年4月23日使用開始)による方法と、書名50音順のリストから検索する二つの方法がある。将来的には全てのデータを「ライブファインダー・ウェブ」から検索する方法に統一する。

(二)Facebook(フェイスブック)

2018年6月15日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2022年3月31日までの総リーチ数 25,445件

2021年度1年間の総リーチ数 9,005件 (対前年度比 5,062件増)

(総リーチ数とは当館のFacebook投稿記事の閲覧総人数)

(ホ)Twitter(ツイッター)

2019年6月24日に運用を開始、図書館の情報発信をしている。

2022年3月31日までの総ツイートインプレッション数 217,786件

2021年度1年間のツイートインプレッション数 80,914件

(対前年度比 33,294件増)

(ツイートインプレッション数とは当館のTwitter投稿記事の閲覧総人数)

(へ)書庫VR動画公開

当館には、第1書庫から第5書庫まで5つの書庫がある。これらの書庫に保管されている資料をお客様に紹介し、資料の利活用につなげていくため、VR動画を制作し、2021年7月2日にホームページの「蔵書紹介」にて公開した。2021年度は、当館には多岐にわたる資料が保管されていることを周知するため、地理・地誌、社会科学、自然科学など多様な分野の資料が保管されている第4書庫に焦点を当て、VR動画を制作した。

2021年度(2021年7月～2022年3月)アクセス数 2,642件

(アクセス数はホームページ「蔵書紹介」へのアクセス数)

(ト)第23回図書館総合展に参加

2021年11月1日～11月30日までオンラインで開催された。また図書館総合展に先立ち連続フォーラムも開催された。

○「図書館総合展2021 連続フォーラム第4回 フォーラムin三康図書館」

(2021年10月22日開催)

一般財団法人機械振興協会BICライブラリ(以下BICライブラリと略す)を拠点会場とし、現地参加者(BICライブラリ)とオンラインによる参加者に、当館のVR動画の制作に関わるエピソードを制作会社である株式会社加藤文明社印刷所の担当者とともに紹介した。また、専門図書館が抱える課題と可能性について、BICライブラリ、公益財団法人大宅壮一文庫の各職員3名で公開討論を実施した。

○「ポスターセッション」に参加。(2021年11月1日～11月30日開催)

「週ごとに変わるポスター全4種 三康図書館VR動画解説」と題し、7月に公開したVR動画について紹介した。また4種類のポスターにキーワードを記し、すべてのキーワードを集めて、お申し込みいただいた方に図書館のオリジナルグッズを差し上げた。

○「まわって、撮って、もらおう！ サテライト会場フォトラリー」

(2021年11月10日～11月30日)

サテライト会場は、当館の他、株式会社ブレインテック、茨城県取手市立図書館、国立研究開発法人防災科学技術研究所自然災害情報室、大阪府立泉大津市立図書館、沖縄県恩納村文化情報センター、BICライブラリ、一般社団法人日本新聞協会ニュースパーク(日本新聞博物館)、明治大学 米沢嘉博記念図書館・現代マンガ図書館、くみこう図書館(京都府立久美浜高等学校・丹後緑風高等学校久美浜学舎 学校図書館)、株式会社内田洋行新川本社ユビキタス協創広場CANVAS、ミクニワールドスタジアム北九州、日本出版販売株式会社日販図書館選書センター、株式会社樹村房、日本一の読書のまち推進課(埼玉県三郷市)の15機関が会場となった。参加者は、これらの会場の3カ所以上を訪問し、各会場に設置されたポスターを写真撮影し、その写真をご提示いただくと景品を差し上げるイベントに参加した。

○「専門図書館によるポスターセッション」(2021年11月17日開催)

参加館は、当館の他、公益社団法人全国市有物件災害共済会防災専門図書館、独立行政法人国立女性教育会館、公益財団法人野球殿堂博物館図書室、ミュージアムライブラリーの会(美術図書館・美術資料アーキヴィスト・学芸員を中心とした学術団体であるアート・ドキュメンテーション学会が母体)の5機関である。自館ポスターのPR、他機関ポスターへの質問を図書館間で行い、参加者に専門図書館を紹介し交流を図った。参加者は25名、イベント開催後に配信されたアーカイブ動画の視聴回数は88回であった。

○「専門図書館のコレクション案内」(2021年11月19日開催)

参加館は、当館の他、公益財団法人味の素の文化ライブラリー、一般財団法人日本航空協会航空図書館、公益財団法人人権教育啓発推進センター人権ライブラリー、BICライブラリーの5機関である。港区内にある5つの専門図書館が自館の特徴ある所蔵資料や分野について紹介した。参加者は42名、イベント開催後に配信されたアーカイブ動画の視聴回数は131回であった。

(チ)「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」に基づく貴重資料のデジタル撮影の実施

当法人では、2021年1月20日に大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館(以下国文学研究資料館と略す)と当該覚書を締結した。当館が所蔵する貴重資料のデジタル化を進め、国文学研究資料館ホームページ「新日本古典籍総合データベース」にてデジタルデータを日本、海外へ順次公開する。覚書に基づき、2021年度は所蔵資料の写本(手書きの資料)約1,500点の内、卷子本3点(64軸)、冊子本4点(16冊)を撮影した。(総カット数は1,412カット)

なお、国文学研究資料館におけるデジタルデータ公開時期は2022年4月下旬の予定。

(リ)ノベルティグッズの製作、配布

三康図書館の周知と利用者促進を図るため、リングノート(2種類)各50部、クリアファイル100部製作した。イベントにて配布している。

(7) その他の事業(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業は計画通り推移した。

(8) その他の事項

「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応について

昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大のため、2021年度も政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」、東京都の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」、公益社団法人日本図書館協会の「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、「三康図書館開館指針」及び「対応細則」(2020年6月5日作成)に基づき、感染防止対策の徹底を図り、三密を回避し、三康図書館をご利用のお客様ならびに従業員の健康と安全確保に努めた。

1. 開館時間

通常： 9:30～17:00

変更： 11:30～15:30

(2021年10月25日から2022年1月20日までは10:30～16:30)

2. 利用者数

通常： 36名

変更： 4名

2. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

2022年3月31日 現在

理事 5名

監事 2名

評議員 10名

① 理事

理事長 八木季生(大本山増上寺 法主)

理事 井澤隆明(大本山増上寺 執事 教務部長)

四十崎裕(西武鉄道株式会社 執行役員 管財部長)

山口正大(元西武鉄道株式会社 常務取締役)

宇高良哲(三康文化研究所研究指導員)

② 監事

巖谷勝正(大本山増上寺 執事 財務部長)

福岡昌幸(西武鉄道株式会社 管理部長)

③ 評議員

友田達祐(大本山増上寺 執事 執事長)

佐々木 励綱(大本山増上寺 執事 施設部長)

赤羽海衆(大本山増上寺 総務部総務課長)

蓮池光洋(大蓮寺 住職)

前田孝雄(龍原寺 住職)

青柳雅人(西武鉄道株式会社 管理部 課長)

石川 寛(株式会社西武プロパティーズ 常勤監査役)

杉山雅樹(西武鉄道株式会社 管財部 課長)

小柳光雄(元西武プロパティーズ 常勤監査役)

桑名 健(元西武鉄道株式会社 勤務)

(2) 会議に関する事項

開催年月日	会議名	報告事項・決議事項	会議の結果
2021年5月28日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 決議事項 1. 2020年度事業報告書(案)について 2. 2020年度決算報告書(案)について 3. 理事・監事推薦について 4. 定時評議員会招集及び提出議案について	原案通り承認可決した 〃 〃 〃
2021年6月28日	評議員会	報告事項 1. 2020年度事業報告書について 決議事項 1. 2020年度決算報告書(案)について 2. 理事・監事・評議員の選任について	原案通り承認可決した 〃
2021年6月28日	理事会	決議事項 1. 代表理事及び理事長の選任について 2. 常務理事選任について	原案通り承認可決した 〃
2021年10月20日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について 2. 公開集会開催状況について	
2022年2月28日	理事会	報告事項 1. 第2回、第3回公開集会開催状況について 決議事項 1. 2021年度減価償却引当資産の取り崩し(案)について 2. 2022年度事業計画(案)について 3. 2022年度事業収支予算(案)について 4. 2022年度設備投資計画(案)について 5. 規程改正(案)について 6. 前常務理事 故・矢崎通文氏の相続人への退職慰労金の支払いについて	原案通り承認可決した 〃 〃 〃 〃 〃

		7. 理事の推薦について 8. 臨時評議員会招集及び提出議案について	〃 〃
2022年3月24日	理事会	報告事項 1. 職務執行状況について	

以上の通り2021年度事業の概要を報告いたします。

2022年 5月 17日
公益財団法人 三康文化研究所
理事長 八木季生